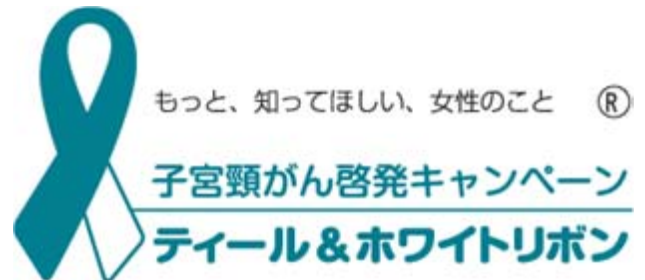


～ポーラ、子宮頸がん啓発月間に協力～ 「ティール&ホワイトリボン」が銀座を照らす

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、社長：鈴木弘樹）は、2013年11月1日（金）から11月30日（土）の1ヶ月間、ポーラ銀座ビル（銀座1丁目：中央通沿い）の壁面全体をライトアップし、子宮頸がん啓発に対する予防・検診の普及啓発を広く呼びかけます。

世界的照明家である豊久将三氏の協力で、ビル全面に配置された13万個のLEDと180枚のパネルのパネルで表現したティール&ホワイトリボンのシンボルマークが銀座中央通りに向けて浮かびあがります。



ポーラは女性たちの輝く活動を応援する「アンチエイジングアライアンス（AAA）」の一環として、ポーラ独自の科学的カウンセリング「スキンチェック」の実施件数に応じた募金（2012年末時点の累計寄付金は、約1450万円）を行うなど、「子宮頸がんの予防・検診・治療に対する正しい知識を普及・啓発し、日本における子宮頸がん罹患者数、死亡者数を減らすとともに、子宮頸がんになっても、その人らしく生きていくことを支援する」ことを目的としたティール&ホワイトリボンプロジェクト活動を応援しています。同プロジェクトでは、毎年6月と11月を子宮頸がん啓発月間と定めており、今回の企画を実施することとなりました。